

こねる  
ダンボール  
アート

# オダカマサキ展



写真:リュウグウノツカイ

手軽に体験できる  
ワークショップ  
開催!

30点以上  
作品展示!

2022  
7.16 土 → 8.14 日

SNSやテレビで話題!ダンボールをこねてドラゴンや恐竜などをつくるダンボールアーティスト、オダカマサキによる作品展。まるで粘土で作られたような、ダンボールの限界を超えた繊細な作品が大集合!

平日11:00-16:00 土日祝10:00-17:00  
[ 場 所 ] 富山市民プラザ 2階アートギャラリー  
[ 入場料 ] 小・中学生500円 大人1,000円  
主催: (株)富山市民プラザ

生活価値創造  
富山市民プラザ  
Toyama  
Shimin  
Plaza  
〒930-0084 富山県富山市大手町6-14  
www.siminplaza.co.jp  
■本社事業部(市民プラザビル)  
TEL.076-493-1313(代)



当日の駐車場割引サービスはございませんのでご了承ください。

イベント開催時は、市民プラザ駐車場及びグラウンドパーキングが混雑する場合がございますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

ご来館の皆さまへ

- 体調不良(発熱や倦怠感など)及び感染陽性の方との濃厚接触がある方は、来場をお控えください。
- 入場時に手指消毒、検温をいたします。37.5度以上の発熱や風邪の症状がある方の入場はご遠慮いただきます。
- 混雑時は入場を制限する場合があります。ご了承ください。
- 当日は、会場係員の指示に従ってください。

イベントの詳細はHPをご覧ください

# こねる ダンボール アート オダカマサキ展



## オダカマサキ ダンボールアーティスト

1976年、埼玉県生まれ。会社員をしながら、息子に「お父さんも何か作ってみせてよ!」と言われ、良いところを見せようとダンボール工作をはじめ。ある日難しいオーダーを断ったら「いつも僕にやる前から諦めちゃ駄目だっというのに、お父さんは諦めてもいいの?」と言われ後に引けなくなり、息子のオーダーをこなしながら作品を制作。その作品をSNSに投稿すると話題となり、2017年から「ダンボールアーティスト」として作家活動を始める。幻獣や身近な生き物をモチーフに創作、ダンボールの限界を超える造形を追求。シンプルな構成で綺麗な曲面やディテールを作ること、正確さより魂を込めることを心掛けている。ダンボールを「こねる」加工を得意とする。

【テレビ出演・出版】日本テレビ「ふり途中下車の旅」(2019) / フジテレビ「めざましテレビキラビト!」(2020) / 日本テレビ「ヒルナンデス!アート達人コーナー」(2020) / 株式会社新紀元社 オダカマサキ ダンボールアートワークス出版(2020) / NHK「Eテレ ダンボールマスター」(2021) / テレビ東京「1 minute art x SPY x FAMILY」(2022) / TBS「マツコの知らない世界」(2022)

ダンボールを知って、ふれて、作品をつくってみよう!

## ワークショップ

7/

16  
SAT

17  
SUN

30  
SAT

31  
SUN

8/

13  
SAT

14  
SUN

10:30~ マスク、クワガタ 13:30~ マスク、ホタルイカ 所要時間1時間

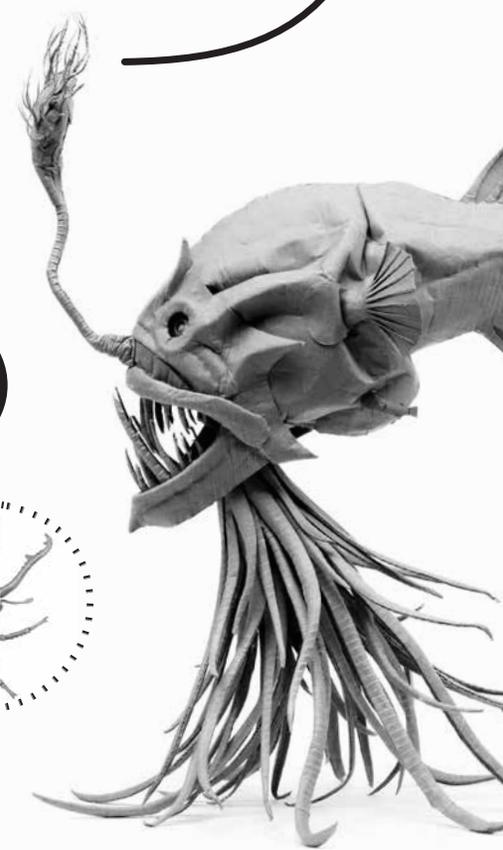
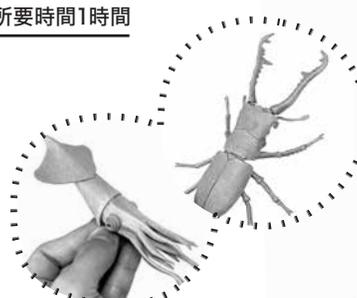
場所:2階アートギャラリーD 人数:10名/回

料金:1,000円(別途オダカマサキ展入場料がかかります)

※ハサミ等使用するため、10歳未満は保護者の同伴必須。

※アルコールを使用するため、アルコールアレルギーの方は参加できません。

市民プラザHPから  
ご応募ください



## ダンボールをこねるとは?

僕はダンボールを粘土のように、こねながら造形をしていきます。こねる=ダンボールとの対話。

毎日こねていると、ダンボールの声が聞こえるようになります。ダンボールの声の通りに作れたときには、いつもより早く、綺麗な作品が仕上がります。

切ることで形を変え、折ることで強くなり、こねることで表情を持ち、貼ることでつながる。そんなダンボールの持つ特性を活かした造形や手法を通して、工作の楽しさ、奥深さ、素晴らしさをお伝えできたらと思っています。

